

三宅島帰島プログラム準備検討会中間報告公表に当たって

三宅島全島避難から、まもなく4回目の新年を迎えようとしています。

火山ガスは自然現象ですから、いつの時点で通常の生活が送れるようなレベルにまで低下するか、予測することは困難です。しかし、適切な対策を実施し、「火山との共生」を図るため、帰島に向けた取り組みを進めることが重要であると考えています。国、都、村は共同でその検討を進めており、今回、中間報告をとりまとめたところです。

「一日も早く島に帰りたい」という、多くの願いを胸に、今後とも、島民の方々と行政との協働で、帰島を視野に入れた準備と環境整備を行っていきたいと思います。

平成15年12月25日

内閣府政策統括官	尾見博武
東京都副知事	福永正通
三宅村長	長谷川 鴻